



【先週 5月23日～5月29日の外食の出来事】

■幸楽苑、50名に希望退職を募集 会長は報酬ナシ、社長は半減

幸楽苑が、全社員の6%に当たる50名の希望退職を募集。対象は、40歳以上で5年以上勤務経験がある正社員。同時に、会長の新井田 博氏は3ヶ月間、役員報酬の100%を減額する。社長も50%を減額。

■ジョイフル、第3四半期(2020年7月～2021年3月)の連結業績 減収赤字

2021年6月期 第3四半期の連結業績を発表。売上高376億7100万円(前年同期比28.8%減)、営業損失21億6600万円(-)、経常損失1億7600万円(-)、四半期純利益13億3600万円(-)であった。

■サンマルク、アドバンテッジから67億調達

サンマルクが、アドバンテッジアドバイザーズと事業提携契約を締結。アドバンテッジアドバイザーズ傘下のファンドに新株予約権を発行し、67億8900万円調達。これにより同ファンドはサンマルク株16.45%を所有して2位株主に。

■一風堂、財務大臣の麻生グループから16億調達 郊外ロードサイド型に転換

博多ラーメン「一風堂」を展開する株式会社 力の源ホールディングスが、株式会社麻生に対し第三者割当を行い16億4600万円を調達する。払い込み期限は5月31日。麻生は力の源9.83%株式を所有することとなる。

■すかいらーく、公募増資などで最大447億円調達 経営立て直し

公募増資などで最大447億円を調達する。同社は新型コロナウイルスの感染拡大で外食需要が低迷し、業績が悪化。増資で財務を強化しつつ、有利子負債の返済や業態転換など設備投資に充て、経営の立て直しを急ぐ。

■コロワイド、2021年3月期(2020年4月～2021年3月)の連結業績 減収赤字

2021年3月期 通期の連結業績を発表。売上収益1681億8100万円(対前年同期比28.5%減)、事業損失81億4600万円(-)、EBITDA△9800万円(-)、当期損失97億2800万円(-)であった。

■王将フードサービス、2021年3月期(20年4月～21年3月)の連結業績 減収減益

2021年3月期 通期の連結業績は売上高806億1600万円(対前年比5.8%減)、営業利益60億7300万円(同21.1%減)、経常利益68億6700万円(同15.1%減)、当期純利益42億8700万円(同19.3%減)であった。

■4月外食売上高、36.7%増 コロナ禍前には及ばず

日本フードサービス協会が発表した4月の外食産業売上高は、前年同月比36.7%増だった。プラスは2020年2月以来、14カ月ぶり。ただ、新型コロナウイルス流行前の19年4月と比べると19.5%減。

■トリドールHD、2021年3月期(2020年4月～2021年3月)の連結業績 減収赤字

2021年3月期 通期の連結決算は売上収益1347億6000万円(前年同期比13.9%減)、事業損失38億7200万円(-)、営業損失73億3600万円(-)、税引前損失91億1900万円(-)、当期損失54億5600万円(-)であった。